

## ジョージア州交通局、維持費を獲得のために広告募集

掲載日	2010年4月16日
国名	アメリカ
分類	休憩施設
出典	AASHTO Journal
タイトル	Georgia DOT Solicits Ads to Pay for Maintenance Costs

ジョージア州交通局（GDOT）は、一般企業からの高速道路の休憩施設での広告の申し込みを受け付けており、これにより休憩施設の維持費を獲得しようとしている。

GDOT は、一般企業と契約を結び、広告を認める代わりに 17 箇所の休憩施設と 9 箇所の Welcome center の維持費を支出してもらいたいと考えていると Atlanta Business Chronicle（新聞社）は伝えている。

2008 年度、GDOT は休憩施設と Welcome Center の清掃や植栽管理に 450 万ドル支出した。しかし、2009 年は予算不足から契約を解除せざるを得なかった。GDOT は財政不足から昨年 8 月に休憩施設を 2 箇所閉鎖した。

同局の財政管理者の Meeks 氏によれば、同局は清潔で心地よいトイレを維持する方法を模索しているとのことである。

昨年の予算削減により、GDOT 職員が直営で休憩施設と Welcome Center の維持を行っている。

休憩施設や Welcome Center で広告するアイデアはいくつかの既存の GDOT の計画から考え出されたものである。長期にわたり、GDOT はインターステートの次の出口で可能なガソリンスタンドやレストラン、ホテルを表示する青い看板を広告用として販売している。

休憩施設や Welcome Center での広告を販売すると 140 万ドル/年以上になると見られている。売店での広告やバックライト付き電気掲示板、壁掛け型モニター、手の洗浄剤の箱でも広告は可能である。しかし、もっとも収益の多い広告形態はワイヤレスのインターネット接続権を売ることである。旅行者は無料で休憩施設での無線 LAN にアクセスできる代わりに、旅行者自身のノートパソコン上に広告が掲示されるようにするものである。

GDOT は、ファーストフード・レストランやガソリンスタンドに休憩施設の管理を委託したいと考えている。しかしながら、連邦法が 1956 年以降に建設された高速道路用地の商業目的でのリースを原則禁止としている。ジョージアや他州は AASHTO（米国全州道路交通行政官協会）とともに休憩施設の商業目的でのリースの禁止を解除するよう連邦政府と交渉中であるとのことである。